

健やがライフスタイルを応援！

第79号

社会医療法人
恵和会

発行：社会医療法人恵和会
編集：広報委員会
責任者：菊地 均
〒062-0034札幌市豊平区西岡4条4丁目
TEL (011) 853-8322西岡病院 (代表)

にしおか小町

2018年
秋季号

恵和会理念

●地域に密着した良質な医療の提供 ●地域住民の健康を守る一助となる

平成30年度 北海道胆振東部地震

平成30年北海道胆振東部地震の被害に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。

社会医療法人 恵和会 職員一同

西岡病院

敬老会

介護老人保健施設アムニティ西岡

9月19日(水)入院患者様・ご家族対象に敬老会を開催いたしました。

会場の2階会議室には入院患者様・ご家族など、あわせて30名ほどの方にご参加いただきました。

沖縄の伝統楽器である「三線」の演奏ボランティアをされている「かりゆしケアーズ」の皆さんをお招きしました。「かりゆしケアーズ」は森さんご一家で活動されており、お父さん、お母さんが三線と歌、小学1年生の息子さんがドラムで演奏をしてくださいました。

今回は耳なじみのある「花～すべての人の心に花を～」や、「ハイサイおじさん」「ゆいまーる」では 沖縄の踊りである「カチャーシー」の手の振り付けをみんなで一緒に行うなど、にぎやかな時間を過ごしました。また、小さな身体で大きなドラムセットを操る息子さんにも思わず表情が緩み、たくさんの拍手がわきおこりました。

西岡病院

☎ 011-853-8322



毎年ご利用者のご長寿をお祝いして、敬老会を開催しています。今年は、敬老会に向けてご利用者の皆様と一緒に各階の飾り付けを行いました。

敬老会当日には、職員が練習を重ねたダンスを披露し、ご利用者も一緒に一歩ずつでも前に進んでいこうという想いを込めて、「三百六十五歩のマーチ」を唄いました。皆様と手拍子や拍手で盛り上がり、たくさんの笑顔が見られ楽しい敬老会となりました。

介護老人保健施設
アムニティ西岡

☎ 011-854-5510



おびひろ呼吸器科内科病院では、9月1日に「ふれあい健康まつり」を行いました。今年で4回目の開催となり、約90名の地域の方々や患者様等々、たくさんの方に来ていただきました。

当日は、肺機能検査や骨密度測定などの検査コーナー、職員による呼吸リハビリの講演、チャリティーバザー等のブースも大変にぎわっていました。

「楽しかった！」「ビンゴ大会で景品が当たったよ。」とみなさん笑顔で話されていました。

おびひろ呼吸器科内科病院 ☎ 0155-22-3101





しゅ どうりゅうし
黒澤病院 病院長 首藤龍人

【所属学会・専門医など】

米国内科学会:上級会員、フェロー
米国消化器病学会:上級会員、フェロー
米国消化器内視鏡学会:国際メンバー
日本消化器内視鏡学会:認定指導医
日本消化器病学会:認定専門医
その他多数

1990年 自治医科大学卒業
1990年 旭川医科大学内科学第三講座
1991年1月 市立旭川病院
1991年6月 旭川厚生病院
1995年 旭川医科大学内科学第三講座
2002年 Cold Spring Harbor Laboratory, New York, USA
2004年 啓和会黒澤病院 医長
2010年 啓和会黒澤病院 副院長
2016年 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科医師
2018年10月～恵和会黒澤病院 病院長

内視鏡について

内視鏡検査は、普段は見る事ができない体内の様子を、内視鏡の先端部に搭載された小型撮像素子を介してモニターに映し出し、病気の早期発見を可能にした精密医療機器です。

医療機器や技術の発達により応用範囲が広がり、高周波スネア、碎石具、クリップなど多種多様な処置具が開発され、診断から治療までスムーズな内視鏡診療が可能となっています。

内視鏡技術革新

近年の急速な内視鏡機器の技術革新と進歩は目覚ましく、スコープの高画素化、細径化と様々な光学的な内視鏡観察技術が開発されています。通常の内視鏡検査では、白色光を粘膜表面に照らして自然な色調をモニター上に再現しますが、「光デジタルによる画像強調」を用いた観察では、光の波長を制御することで粘膜表層血管や粘膜微細構造を強調して映し出します。

がんの増殖には血管からの栄養補給を必要とするため、病変には多くの血管が集まります。粘膜内血管をより鮮明に観察しやすくするために、血液中のヘモグロビンに吸収されやすい波長の光を照らし、画面表示する技術が狭帯域光観察です。狭帯域光観察では、通常光観察では見えにくかった癌などの早期病変の観察において有用性が実証されています。

オリンパスからは、「狭帯域光観察:Narrow Band Imaging (NBI) 機能を搭載した内視鏡システムが開発されました。

富士フイルムからは、「レーザー光を用いた Blue Laser Imaging (BLI)や、「赤色領域のわずかな色の違いを強調して表示する機能: Linked Color Imaging (LCI)などの画像強調機能により、微小な病変発見をサポートする LED 光源搭載内視鏡システムが開発されました。

低侵襲内視鏡治療

画像強調イメージングと拡大内視鏡との併用で粘膜表層毛細血管や粘膜微細構造を観察することにより、病変の存在診断、腫瘍・非腫瘍の鑑別、範囲診断、深達度診断、組織型の予測など、内視鏡診断への有用性が実証されています。癌の早期診断が可能となり、従来は外科手術が行われていた多くの疾患が、内視鏡を用いて内科的に治療できる時代になりました。

内視鏡による治療の特徴は、体表に大きなキズをつける従来の開腹手術と比較して身体へのストレスの少ない「低侵襲治療法」です。

グローバル化

入院期間や退院後の日常生活の制約なども軽減し、生活の質(Quality of Life: QOL)が格段に保たれます。今後の超高齢化社会の到来において、患者さんへの負担の少ない「低侵襲内視鏡治療」は、その必要性が増していくものと思われます。

グローバル化は時代の流れであり、もはや止めることはできません。消化器内視鏡の分野において、日本は名実ともに世界のトップランナーです。日本には、世界に誇るべき「匠の技術」をもつ職人、産業界の優れた機器開発技術力、そして、日本消化器内視鏡学会専門医は、豊富な知識と同時に世界トップレベルの内視鏡技術力を併せもっています。これからも世界をリードし、内視鏡診断・治療を通じて、国内はもとより世界の福利厚生にさらなる貢献を果たしていく使命感を抱いています。

さらなるイノベーションが新次元の 診断・治療の扉を開く

高解像度内視鏡や画像強調拡大内視鏡の普及・発展により、顕微内視鏡による細胞レベルの診断が実用化され、内視鏡診断と治療を同時に行う時代になると予測されます。

内視鏡分子イメージングの技術では、生体の蛋白や脂質、DNAなどの分子とその動きを画像として可視化することができる技術です。生命の基礎的な仕組みや疾病の病態解明に有用であり、高精度の内視鏡診断法や、より効果的な治療法の追求、患者さん一人一人の病態に適したオーダーメイド医療への手がかりとして期待されています。さらに、「医師と共に在るAI(人工知能)」で、内視鏡検査中にリアルタイムでポリープを検出し、その組織診断を予測することが可能な人工知能技術を応用した検査支援システムが開発されています。

今後は、再生医療の内視鏡応用、ロボテック・テクノロジーの応用も期待されており、内視鏡治療に変革をもたらす新技術となる可能性があります。

より安全で確実、効果的な 消化器内視鏡診療を展開

医療機器や内視鏡技術のイノベーションにより、消化器内視鏡診療は発展し続けています。日々研鑽し、新しい診療技術を取り入れ、患者様への体にやさしい低侵襲治療を含む専門の内視鏡診療を進めてまいります。

「恵和会 미래의森」

植 樹 式 開 催

社会医療法人 恵和会では平成21年以降、毎年美幌町との間で森林整備協定を締結し、「恵和会 未来の森」と名付けた森林に、カラマツの植樹を行っています。今年で10回目となる記念植樹式を9月30日に美幌町古梅にあります、FSC森林認証林内にて実施しました。

台風24号の接近に伴い降雨・強風が懸念されましたが、当日は爽やかな秋晴れに恵まれ絶好の植樹日和となりました。職員やその家族、社会福祉法人 恵和福祉会ならびに美幌町職員の方々など総勢114名(うち子ども29名)が参加し、急な斜面にも関わらず、鍬やスコップで土を掘り起こし2年物の苗木を植栽しました。小さな子どもたちが大人をまねて植栽する姿は、微笑ましいものがありました。



今年は1.56haに3,120本のうち200本を植栽しました。この10年間で総面積は13.31ha、総本数は26,620本となりました。今後も当法人の地球温暖化防止ならびに後世へ引き継ぐ貴重な財産づくりを行うCSR(企業の社会的責任)の一環として継続して実施したいと思います。



職員紹介コーナー

第53回



小町な人

平成30年8月1日付けで、恵庭第一病院から異動になりました。
病院での経験を活かし、ご利用者ファーストでの看護、介護を展開していきたいと思ひます。
様々なご相談を柔軟に対応できる介護老人保健施設です。介護の事で困り事がございましたら、是非ご相談ください。



看護師長 石崎 暎里

Caféにしおかの輪

大好評営業中



Caféにしおかの輪は7月の開店後、月1回、継続的に開催をしています。9月は西岡病院の永田宏樹作業療法士に「転倒防止について」として、これから訪れる冬に備えて、「転倒」に関するお話しや、普段の運動不足を解消するための簡単な運動方法をお伝えし、参加者と一緒に実技を行いました。

参加者からは「普段少しずつでも心がけて自宅でも今日の運動をしてみようと思います」「何も(運動を)しないのはダメですね」などの感想がありました。

Caféにしおかの輪は、ボランティアグループにしおかの輪が運営しています。

月1回開催で、コーヒーなどを飲みながら、気軽に健康講話を聞いたりするカフェです。

参加費100円でどなたでもご参加いただけます。お気軽にお越しください。

今後の
開催予定

11月22日(木)13:30~15:30

健康講話

「フットケアのこつ~どのように爪を切ってますか?~」
松坂 めぐみ(訪問看護ステーション すずらん)

12月 お休み

1月24日(木)13:30~15:30

2月28日(木)13:30~15:30



会場：西岡会館 (札幌市豊平区西岡4条5丁目 8-21)

お問合せ：西岡病院 医療福祉課 田附・岡村

☎ 011-853-8322

インフルエンザ ワクチンのお知らせ

インフルエンザの重症化を防ぐために、早期のインフルエンザワクチンの接種をお勧めしております。



費用などは各医療機関へお問い合わせください

西岡病院	☎ 011-853-8322
西岡水源池通りクリニック	☎ 011-584-5512
恵庭第一病院	☎ 0123-34-1155
おびひろ呼吸器科内科病院	☎ 0155-22-3101
黒澤病院	☎ 0155-24-2200
三和医院	☎ 0146-36-3101

編集後記

これから寒い冬がやってきます。手洗い、うがいは基本ですね。
インフルエンザ接種も各医療機関で行っています。お気軽にご相談ください。

社会医療法人 恵和会ホームページ <http://www.keiwakai.jp/>

- 西岡病院 TEL(011)853-8322
- 介護老人保健施設 アメニティ西岡 TEL(011)854-5510
- 札幌市豊平区第2地域包括支援センター TEL(011)836-6110
- 訪問看護ステーション すずらん TEL(011)853-5252
- 札幌市豊平区第3地域包括支援センター TEL(011)854-7777
- 西岡水源池通りクリニック TEL(011)584-5512
- 訪問看護ステーション 水源池すずらん TEL(011)584-6800
- アメニティ西岡水源池 ケアプランセンター TEL(011)584-0702
- アメニティ西岡水源池 ヘルパーステーション TEL(011)867-0477

- 札幌市豊平区介護予防センター南平岸 TEL(011)584-1325
- アメニティ西岡水源池グループホーム TEL(011)584-0668
- アメニティ西岡水源池デイサービスセンター TEL(011)584-1350
- 介護老人保健施設 ライフふくまつ TEL(011)583-5000
- 札幌市南区第1地域包括支援センター TEL(011)867-0710
- 札幌市南区介護予防センター澄川 TEL(011)589-1295
- 介護老人保健施設 アメニティ美幌 TEL(0152)75-2210
- 訪問看護ステーション 美幌すずらん TEL(0152)75-2310
- 美幌町地域包括支援センター TEL(0152)75-3220
- アメニティ美幌指定居宅介護支援事業所 TEL(0152)73-6119
- 恵庭第一病院 TEL(0123)34-1155
- おびひろ呼吸器科内科病院 TEL(0155)22-3101
- サービス付き高齢者向け住宅おびこハウス TEL(0155)20-3101
- デイサービス スローライフ おびこ TEL(0155)20-3102
- 黒澤病院 TEL(0155)24-2200
- 居宅介護支援事業所くろさわ TEL(0155)20-5000
- 訪問看護ステーションくろさわ TEL(0155)20-5111
- グループホームどんぐり TEL(0155)43-4700
- グループホームかしわ TEL(0155)58-2002
- ケアプラザくろさわ TEL(0155)32-5552
- デイサービス木野 TEL(0155)32-5558
- 三和医院 TEL(0146)36-3101